

平成30年度 「公園再整備計画策定支援業務委託」 特記仕様書

1. 背景

昭和51年から市民の憩いの場として公園等の整備を進めてきた。現在、都市公園は130カ所となり、量的水準は着実に向上している。

しかし、量の確保に重点を置いたこともあり、ブランコ、滑り台、砂場などの標準的な遊具を設置する公園づくりを行ってきた。

そのような中で、本市の都市公園は設置から30年以上経過したものが現時点で約5割を占め、施設の老朽化により都市公園本来の機能不足が生じており、施設の更新や公園機能の再整備が課題となっている。

近年、少子高齢化の進行や市民の価値観の多様化とともに、どこの公園も同じではおもしろくない、禁止事項が多く何もできない、もっと防犯に配慮すべきなどの声が寄せられるようになり、これまで以上に市民ニーズに細かく対応した公園のあり方が求められるようになってきている。

そのため、これからの本市の公園のあるべき姿として、それぞれの地域の方や利用者のニーズを把握し、公園の利用方法やルール、管理運営方法なども考慮して、公園ごとに個性を持たせ、地域のシンボルやコミュニティの拠点として公園の再整備方針の策定を進めていく必要がある。

公園の再整備方針の策定については、地域性、各世代のニーズ、防災機能、維持管理などの基本的な考え方をまとめ、市民と行政が一体となって取り組んでいくものとする。

本業務では、市内6地域からモデル地域を選定し、公園再整備計画の策定を行うものである。

2. 緑の基本計画における公園再整備計画の検討

上位関連計画等の整理

総合計画、都市マスタープラン、緑の基本計画などとの整合を図り、内容が重複しないよう留意する。

都市公園の実態・課題の整理

市の市街化が進む中で、市民ニーズも多様化している。公園に隣接した住民と公園利用者との間でも公園に対する意識が異なるといった現状を整理する。

公園ごとの機能、特色化の検討

公園における課題および機能を整理するとともに、市内公園の全体施設数および施設の配置を見直し、各公園の魅力を高める検討をする。

都市公園再生の基本的な考え方の検討

人口減少が懸念されている中、質の高い公園づくりが求められている。綾瀬市の都市公園の方向性について公園再整備計画の基本方針を策定する。

3. モデル地域公園再整備計画の策定（1地域）

地域住民、利用者の意向把握

利用実態、希望する公園イメージ、公園の使い方などについて意向調査を実施する。

モデル地区の再生方針の設定

綾瀬市の公園再整備計画基本方針に基づきモデル地区の基本理念と基本方針を検討する。

モデル地域内の再整備計画の検討

(対象公園が担う機能、導入する施設の設定および対象公園の再生メニューの検討)

対象公園における機能分担を図り、各公園に導入すべき施設の検討を行う。

運営管理のあり方検討

地域住民、利用者の意向把握において検討した公園の運営管理について検討する。運営管理のあり方の検討に際しては、市と地域の連携及び各公園のルールづくり等の利用者の理解促進について考慮すること。

モデル公園の検討

先行的に整備を行うモデル公園を抽出する。

4. モデル地区におけるワークショップおよび説明会の開催支援

モデル地区公園再整備計画の検討(上記 ~)に伴うワークショップ(4回)の開催およびモデル地区公園再整備計画住民説明会を開催(2回)する。

なお、ワークショップ及び説明会については、基本的に市で開催・運営するが、必要に応じて支援を行う。

5. 成果品等

綾瀬市公園再整備計画策定支援業務委託報告書 2部(A4版製本)

綾瀬市公園再整備計画(モデル地域) 2部(A4版製本)

電子データ(CD-R) 1式

その他協議による必要な資料 1式